

令和7年3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道上士幌高等学校長

宮田 真克

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|-----------------------------------|
| 1 多様性を尊重する態度と互いの良さを生かして協働する力を育てる。 |
| 2 すべての教育活動を通じて、生徒の自律性の伸長を図る。 |
| 3 進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養う。 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた学習、特性や進路希望に応じた学習指導について職員評価及び保護者の評価が概ね良好な評価を得られた。校内支援委員会や校内研修を通じてICT機器を使用した個別最適な学びへの実践の結果であると考ええる。 授業改善（観点別評価を含む）については、概ね良好な評価であるが、今後も授業改善と教科横断的な学びについて研修を深め実践をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用と個に応じた学習指導や授業改善については高評価であった。 教科横断型の授業だけでなく、中学校との連携を含めた授業についても検討するよう助言があった。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善および教科横断型授業について研修と実践を行う。 ICTの利活用による個別最適な学びへの研修と実践を進める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめの積極的認知と初期対応について、教職員及び保護者から高い評価を得た。未然防止として月例アンケートやきめ細やかな相談体制の構築によるものと考ええる。 生徒会活動の活性化が実を結び、主体的な行動となり、校則の変更等を実施する事ができたので、一定の評価をいただいた。 ボランティア活動等については、多くの生徒が参加し、主体的に活動する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止への取組について、高い評価を得た。 ボランティア活動については、町内関係機関より依頼もあり、手紙ボランティア活動、夏祭りボランティアなどに参加し、地元へ貢献している姿を見ることが出来た。今後も、さらに沢山の生徒の参加を促していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、いじめ未然防止と初期対応について組織的に対応する。 生徒会活動及びボランティア活動について、町との関係機関と連携し地域貢献を図りたい。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 社会人講話、模擬面接、インターンシップ等を通じて、キャリア教育を十分に進めることができた。中小企業家同友会の協力もあり、より効果的な指導を行うことができた。 各種検定、資格取得については、積極的に取り組む生徒が見られた。今後も継続して取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なアプローチをしながら、生徒の進路目標の実現を図ってもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な外部機関等と連携し、生徒の進路目標の実現を図る。 	

	・保護者向け進路ガイダンスの在り方を検討する。	
健康安全 指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生と性に関する講話やボランティア活動の奨励など十分指導を行うことができた。 ・「一日防災学校」を適切に実施できた。 	・町と協力した防災教育を充実させていきたい。
改善方策	・町の防災担当者と連携し、防災教育の充実に努める。	
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性が高い職場環境であり、教職員間の報告、連絡、相談等について非常に良好である。 ・退勤時間の意識化、時間外在校時間の縮減については、おおむね良好と思われるが、一部教員の時間外在校時間が縮減されておらず、業務内容の平準化が必要と思われる。 ・町の関係機関等と連携した教育活動、特に「ライフデザイン」では商品開発等で報道機関に多く取り上げられ、充実した内容となった。 ・上士幌高校振興会と連携し、教育活動の見える化を図った。(Instagram、note、学校ホームページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外活動において学校と地域、行政がマッチングしている様子が可視化されている。 ・高校生の地域活動が地域振興に役立っていると実感できる。 ・広く情報発信をする取組をより進めていきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校広報について更新頻度を上げることと町民、関係者、本校を希望する中学生・保護者に広く知ってもらえるような宣伝取組を図る。 ・職員全体の学校運営に関する参画意識を高めるために、ミドルリーダーを中心に協力体制を構築していく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上に掲載。また、PTA役員会、PTA総会で資料を配付し、口頭で説明する。 ・学校運営協議会で資料を配布し、口頭で説明する。 	

3 添付資料

(1) 令和6年度学校評価(集計結果)

1部